

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<22週> 咽頭結膜熱とヘルパンギ - ナの定点当たり報告数は引き続き夏のピークへ向けて増加しつつある / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<麻疹> 本年第1週からの累積報告数は7,950人  
<腸管出血性大腸菌感染症> 第22週の報告数は75例(うち有症者数は47名)



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎 / 手足口病 / インフルエンザ



速報  
P.6

エコーウイルス11型による無菌性髄膜炎の流行 - 高知県



海外感染症情報  
P.7

マラウイでペストの流行 / ポリオ根絶に向けて前進 - ナイジェリア



感染症の話  
P.8-10

淋菌感染症  
我が国でも1999年4月以降増加しており、感染者は20歳代の年齢層に最も多い。



読者のコーナー  
P.11



グラフ総覧( 22週 )  
P.12-18



22週のデータ  
P.19-26



# 発生動向総覧

第22週コメント 6月7日集計分

## 全数報告の感染症

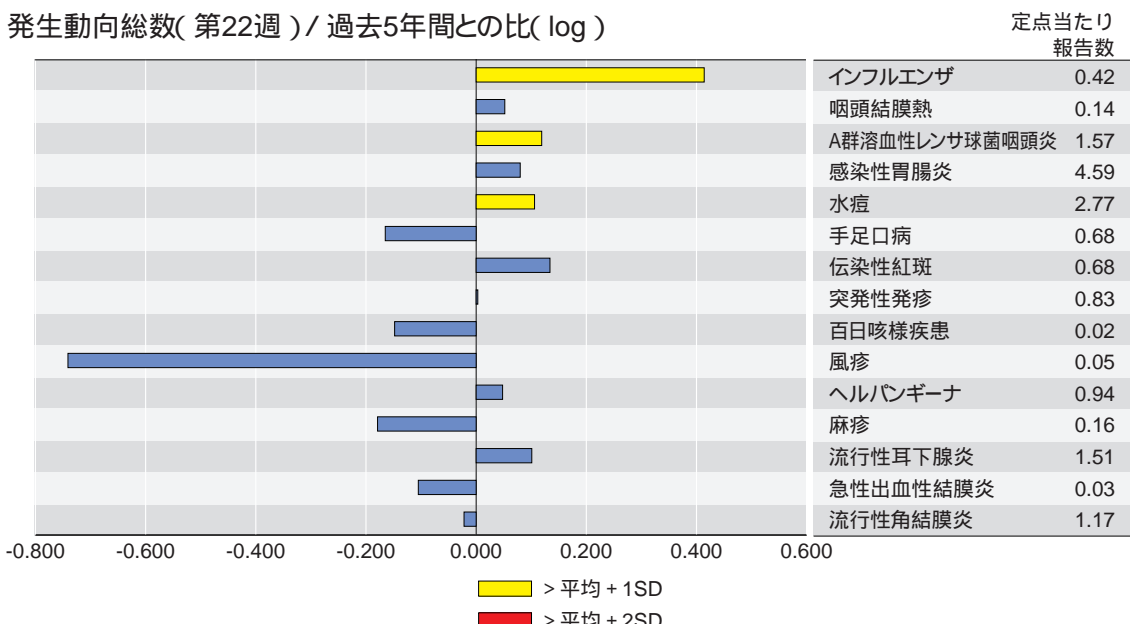
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ2例( 推定感染地: インド1例、中国の1例は疑似症 )、細菌性赤痢25例( 1例は疑似症から否定された。推定感染地: 国内12例[うち11例は岐阜県からの報告]、中国8例、インドネシア2例、タイ、タイ/カンボジア各1例 )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症75例( うち有症者47例 )
- 4類感染症: アメーバ赤痢7例( 推定感染地: 国内6例、インド/エジプト/インドネシア1例 )、オウム病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、コクシジオイデス症1例( 推定感染地: メキシコ )、ジアルジア症2例( 推定感染地: とくに国内 )、ツツガムシ病4例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例( 腹水穿刺液からvanC型 )、ライム病1例、急性ウイルス性肝炎16例
  - A型11例
  - B型4例( 感染経路: 性的接触3例、不明1例 )
  - C型1例
- 後天性免疫不全症候群12例( 無症候性9例、AIDS 1例、その他2例 )
  - 感染経路: 性的接触10例( 異性間6例、同性間4例 )、静注薬物使用1例、不明1例
- 梅毒3例( 晩期顕症1例、無症候2例 )
- マラリア3例( 三日熱マラリア2例、推定感染地: インドネシア、パプアニューギニア各1例、熱帯熱マラリア1例、推定感染地: アフリカ )

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

インフルエンザはかなり治まってきているが、定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べてやや多くなっており、都道府県別では岩手県( 7.1 )、青森県( 3.7 )、沖縄県( 2.7 )、宮城県( 2.3 )、秋田県( 2.2 )など東北地方からの報告が多い。水痘の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べてやや多く、ピークを作りつつあり、都道府県別では山形県( 6.4 )、石川県( 5.0 )、福島県( 4.3 )、埼玉県( 4.2 )、大分県( 4.1 )などで多くなっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数も過去5年間の同時期と比べてやや多くなっている。

他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて特別多くなってはいない。しかし、咽頭結膜熱とヘルパンギーナの定点当たり報告数は引き続き夏のピークへ向けて増加しつつある。都道府県別では前者が滋賀県( 0.9 )、後者が宮崎県( 4.7 )と佐賀県( 3.4 )からの報告が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、2つ目の小さなピークの折り返しを迎え、都道府県別では鳥取県( 9.8 )、富山県( 8.1 )などからの報告が多い。百日咳の定点当たり報告数は、山形県( 0.27 )で地域流行を反映して多くなっている。

発生動向総数( 第22週 ) / 過去5年間との比( log )

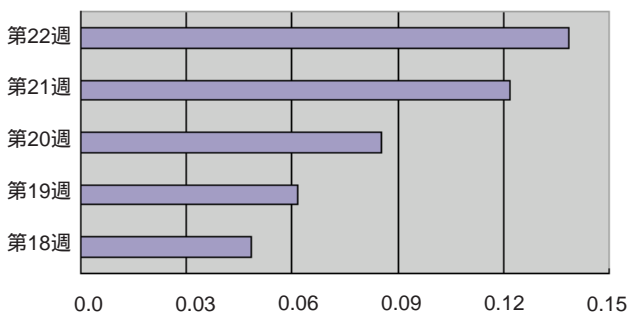


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

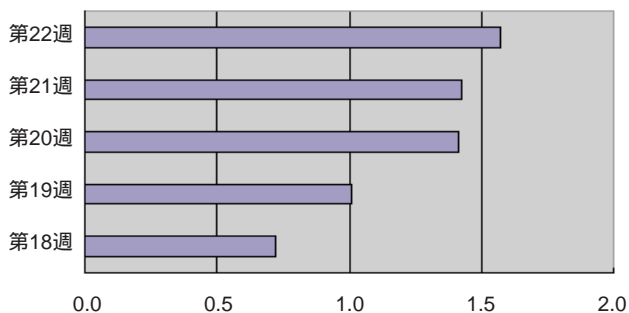
## 最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、手足口病、ヘルパンギーナなどの定点当たり報告数は、いずれも前週に比べて増加している。伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べてわずかに減少した。

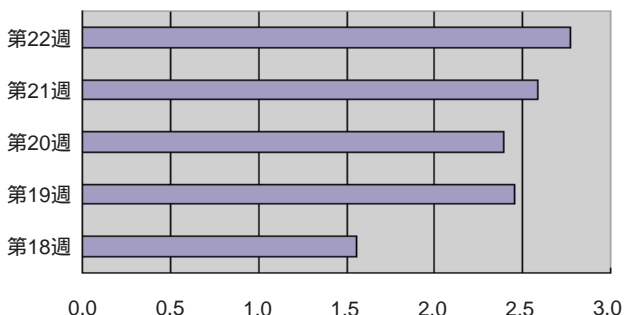
咽頭結膜熱



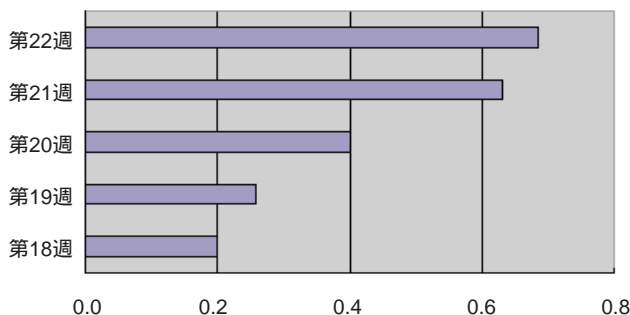
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



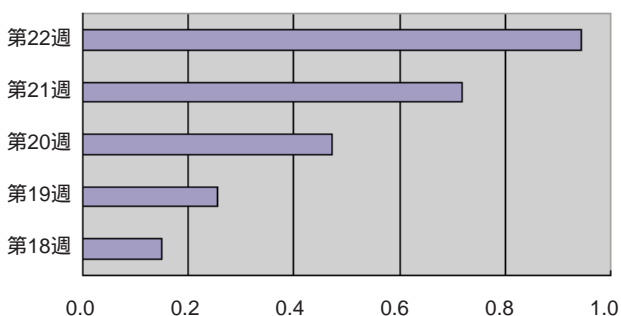
水痘



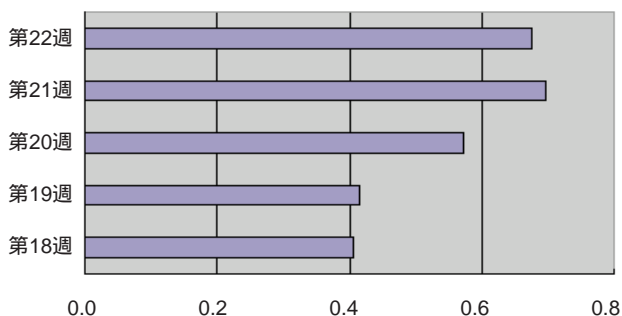
手足口病



ヘルパンギーナ



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



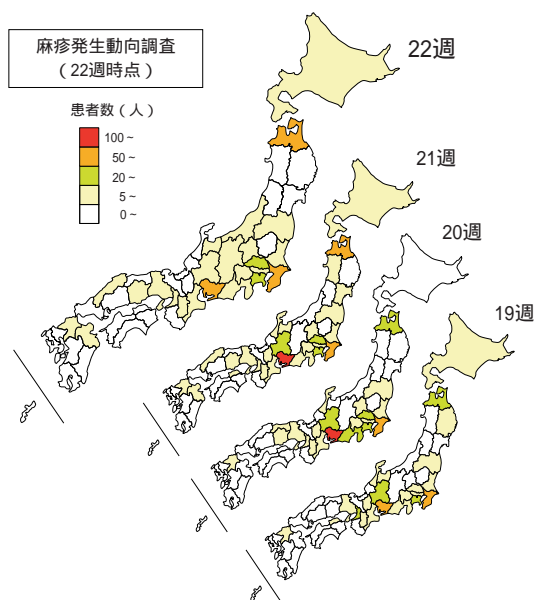
# 注目すべき感染症

## 麻疹

麻疹は例年年明けから春にかけて報告が増加し、5月頃流行のピークを迎える。昨年は1992、1993年以来の大きな流行となり、成人麻疹の増加も認められた。2002年の第22週までの発生状況に関しては、全国レベルでの定点当たり報告数は例年に比べ低くなっている(15ページグラフ参照)。第22週現在定点当たり報告数が多くなっているのは、青森県(1.4)、愛知県(0.5)、千葉県(0.4)、岐阜県(0.4)、福島県(0.4)などである。本年第1週からの累積報告数は7,950人である。全国約500の基幹定点医療機関から報告される成人麻疹は、累積で226人となっている。

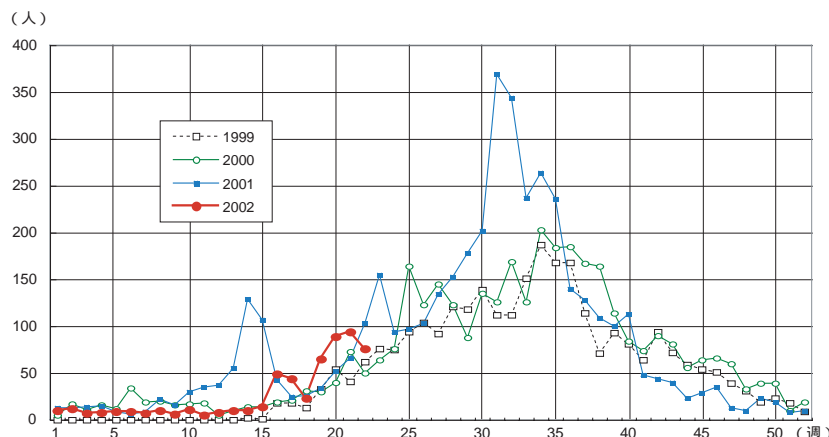
厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、大きな流行の存在を示唆する「警報」は、愛知県内の6保健所、青森県内の4保健所など全国計20保健所で発生しており、今後4週間以内に警報が生ずる可能性が高い「注意報」は、愛知県内の7保健所、神奈川県、岐阜県、兵庫県内の各3保健所など、全国計39保健所に発生している。これらの全国での「警報」および「注意報」発生保健所数は、いずれも前週に比べて減少している。

1歳を過ぎた麻疹ワクチン未接種かつ麻疹未罹患者には、ワクチンを早急に接種することが推奨される。



## 腸管出血性大腸菌感染症

2002年第22週の報告数は75例で(昨年の同時期は84例)、うち有症者数は47名であった。血清型・毒素産生については、O157・VT2が25例で最も多く、次いでO157・VT1が18例、O157・VT1+VT2が17例であった。第22週までの累積報告数は575例(昨年の同期は755例)となっている。累積報告数を都道府県別にみた場合、兵庫県85例、大阪府63例、佐賀県43例などが多くなっている。また、累積報告数を5歳毎の年齢階級別にみると(0歳、1～4歳、70歳以上は別)、1～4歳123例、5～9歳94例、20～24歳43例、10～14歳41例の順である。





## 病原体情報

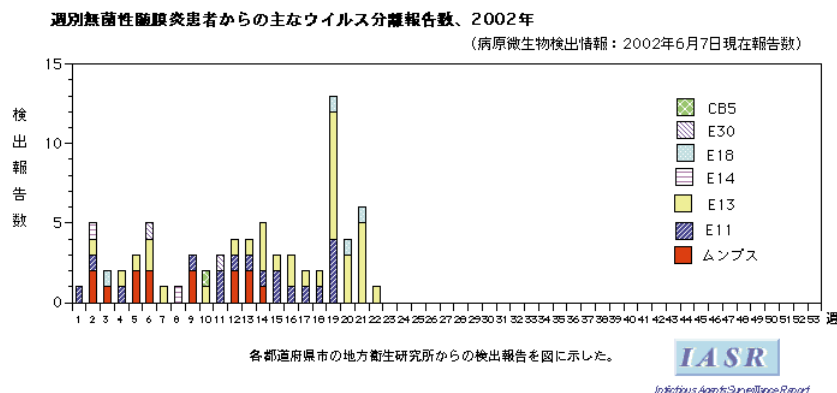
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
( 2002年6月7日現在報告分 )

### ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌 2002年

Vero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が81件、O26が14件、その他の血清型33件(うち23件は、佐賀県の保育園におけるO121の集団発生)である。最近では、O157が第21週に堺市から2件報告されている。

### 無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2002年

エコーウイルス( E )61件( 13型34、11型18、18型4、14型2、30型2、9型1 )、ムンプスウイルス14件、B群コクサッキーウイルス( CB )2件( 3型1、5型1 )の分離が報告されている。E13は第13~22週に福井県から24件、E11は第11週以降高知県から13件の分離が報告されている。また、E18は第19~21週に奈良県から3件の分離が報告されている。

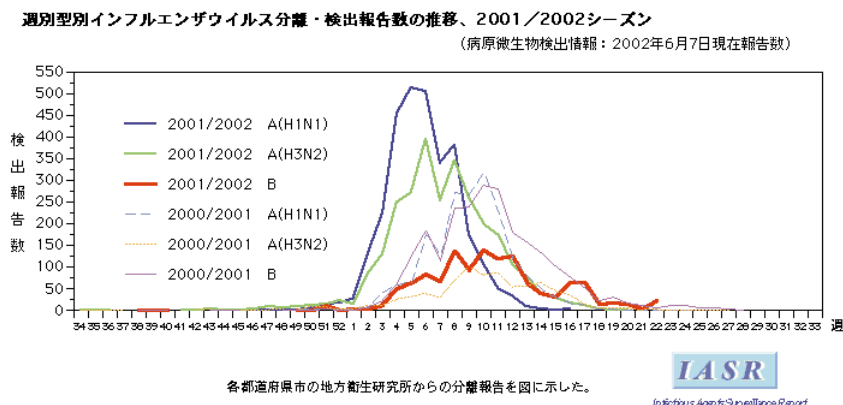


### 手足口病患者から分離されたウイルス 2002年

コクサッキーウイルスA16型( CA16 )37件( 福島県11、島根県11、高知県11、神奈川県4 )、エンテロウイルス71型( EV71 )4件( 埼玉県2、神奈川県1、高知県1 )の分離が報告されている。

### インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連型( H1 )が2,985件、A/香港型( H3 )が2,726件、B型が1,242件である。B型は第12週以降減少していたが、第16、17週に主に東北地方からの報告数が増加したことで、再び小さな山を形成した。最近ではB型が第21週に青森県から3件、第21~22週に沖縄県から23件(うち9件は中学校における集団発生)報告されている。





## エコーウイルス11型による無菌性髄膜炎の流行 - 高知県

2002年1月下旬、高知県の感染症発生動向調査検査定点より搬入された無菌性髄膜炎( AM )の検体よりエコーウイルス11型( E11 )を1件検出した。その後3月に入ってAMの検体搬入が多くなるとともに、同型ウイルスが検出されるようになり、5月初旬現在9症例( 11株 )から検出されている。月別検出数は1月1例( 2株 )、3月2例( 3株 )、4月6例( 6株 )であり、8症例がAM、1症例がインフルエンザ様疾患であった。

検査材料別検出状況はAMの検査目的がほとんどであり、髄液7株、咽頭ぬぐい液3株、糞便1株で、髄液からの検出が多くなっている。同時検出の症例および検査材料は、AM患者の咽頭ぬぐい液と糞便、髄液と咽頭ぬぐい液の2症例であった。

E11分離時の細胞感受性はRD-18S、LLC-MK2細胞が良く、これらの細胞を用いて同定を行った。同定には、市販のエンテロウイルス混合血清、単味抗血清、および国立感染症研究所より分与のエコーウイルスプール抗血清( EP95 )を用いた。

9症例を年齢別にみると0歳( 1例 )、3歳( 1例 )、4歳( 2例 )、6歳( 1例 )、7歳( 2例 )、9歳( 1例 )、11歳( 1例 )であり、今のところ特に低年齢で発症する傾向はみられていない。性別では、0歳の1例を除きすべて男児であった。

県下におけるE11の流行は1996年9月 ~ 1997年2月( 32例 )に確認されているが、これは冬季を中心とした流行であり、疾患としては呼吸器系疾患、不明の発疹性疾患などで、これらが75%( 24例 )を占めており、AMIは3例( 9% )であった。同じE11の流行であっても、冬季の流行と春または夏を中心とした流行ではウイルスが検出される疾患に差がみられると考えられた。香川県においてもE11の冬季流行と夏季流行を経験しており、同様の傾向がみられたと報告されている( IASR Vol.23、No.3参照 )。

今回の流行は、感染症発生動向調査患者定点からの報告および分離状況からみて、現時点では中央医療圏における流行と推察されるが、5月に入って中央医療圏以外からもAM患者の検体搬入が増加しており、県下全域に流行が拡大することも懸念される。今後の動向を監視していきたい。

高知県衛生研究所

千屋誠造 永安聖二 小松照子

山脇忠幸 上岡英和

( IASR2002年6月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )





## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### マラウイでペストの流行

WHO/CSR 2002年6月5日

2002年5月27日現在マラウイ保健省は、2002年4月16日に流行が始まって以来、Nsanje地方で腺ペスト患者71名が発生したと報告した。流行はこれまでのところNdameraの23の村、Chimomboの2つの村、およびモザンビークに隣接した1つの村の合計26の村で起こっている。

マラウイとモザンビークの保健チームの間には、国境を越えた良い協力関係がある。WHOは、保健職員の訓練を含む物資の供給や技術支援によって流行を征圧するため、マラウイ保健省サーベイランスチームやNsanje地方保健職員を支援している。

### ポリオ根絶に向けて前進 - ナイジェリア

MMWR/Synopsis 2002年6月7日

定期の経口によるポリオ予防接種率が低く、人口密度が高いところではポリオウイルス伝播がおきやすい。ナイジェリアはそのような世界の3大ポリオウイルス流行地域のうちの1つである。2000年1月から2002年3月までにナイジェリアでは、急性弛緩性麻痺( AFP )サーベイランスシステムの大きな改善がみられた。重要な業績として拡大AFPサーベイランスと、強化した形での1軒ごとのワクチン接種戦略の実施が挙げられる。ポリオウイルス伝播は衰え、地理的な流行分布は北部の州に移った。ナイジェリアでのポリオウイルス野生株伝播の阻止には、プログラム活動の方向性を決めるために迅速なサーベイランスデータの流れが必要である。



# 感染症の話

## 淋菌感染症

淋菌感染症は、淋菌 *Neisseria gonorrhoeae* ( gonococci ) の感染による性感染症である。淋菌は弱い菌で、患者の粘膜から離れると数時間で感染性を失い、日光、乾燥や温度の変化、消毒剤で簡単に死滅する。したがって、性交や性交類似行為以外で感染することはまれである。

### 疫学

淋菌感染症は世界中に存在しており、最近増加している。米国の淋菌感染症はCDCの報告 ( Sexually Transmitted Disease Surveillance 1997 ) によると、性感染症対策の成果として1975年以来減少を続けてきたが、1996年から減少が横這いとなった。そしてその後、1998 ~ 99年にかけて一部の地域で増加に転じている。我が国でも、1985年以降のエイズ啓発活動により顕著に症例数が減少していたが、最近の感染症発生動向調査によると、1999年4月以降連続して増加傾向にある ( 図1 )。我が国での感染者は20歳代の年齢層に最も多い。なお、報告数の中で女性の数が男性より極端に少数であることについては、女性は自覚症状に乏しく受診の機会が少ないことも要因の一つと考えられる。

最近の疫学的研究によれば、淋菌感染によりHIVの感染が容易になると報告されており、その意味でも重要な疾患である。

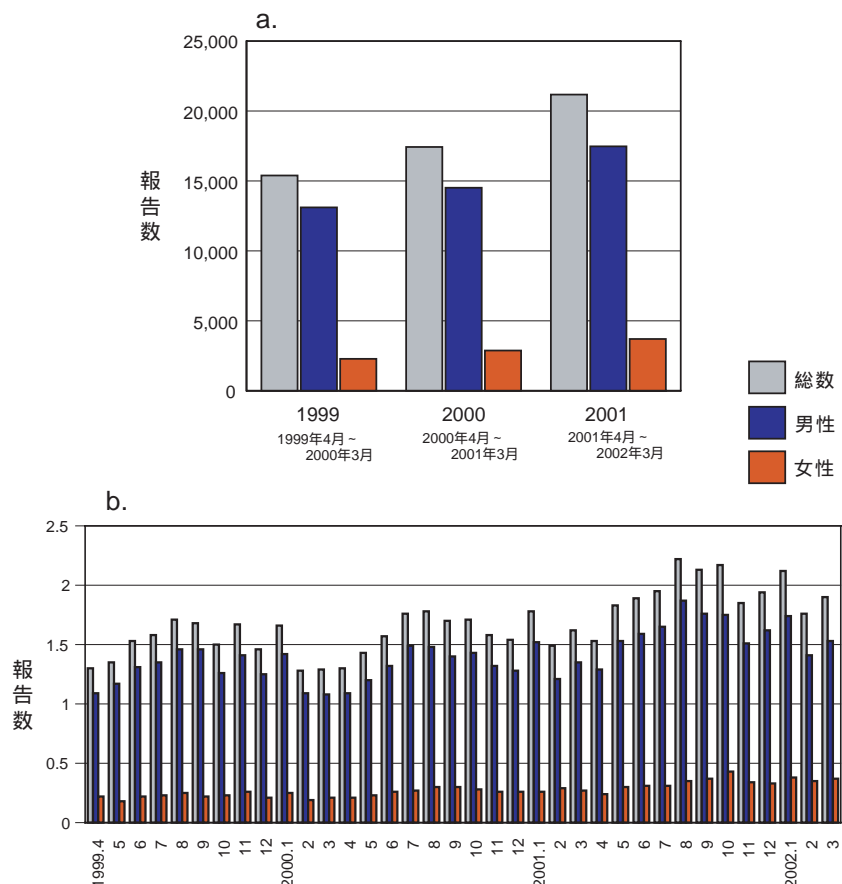


図1. 淋菌感染症発生動向

a. 定点からの年度別報告数

b. 月別の定点当たり報告数

1999年4月1日より施行された感染症法では定点数や定点医療機関に変更があったため ( 感染症週報2000年第46週号4ページを参照 )、それ以前のデータとの比較は困難である。



### 病原体

淋菌感染症は淋菌 *Neisseria gonorrhoeae* ( gonococci ) の感染による性感染症である。淋菌と似た菌に髄膜炎菌 *Neisseria meningitidis* ( meningococci ) があり、DNAの相同性は70%である。両菌種ともヒトに病原性がある。ナイセリアは直径0.6 ~ 1 μmのグラム陰性双球菌で、腎臓形をした球菌はそれぞれがくぼんだ面で接している( 図2 )。両菌種による感染の臨床症状には著しい違いがあり、淋菌は尿路性器感染症、髄膜炎菌は上気道感染の後に中枢神経系感染症( 髄膜炎 ) をおこす。しかし、オーラルセックスによる淋菌性咽頭炎や髄膜炎菌による膣炎もときにみられる。したがって、確実な診断のためには検体の鏡検だけでなく、菌の培養と同定検査が必要である。

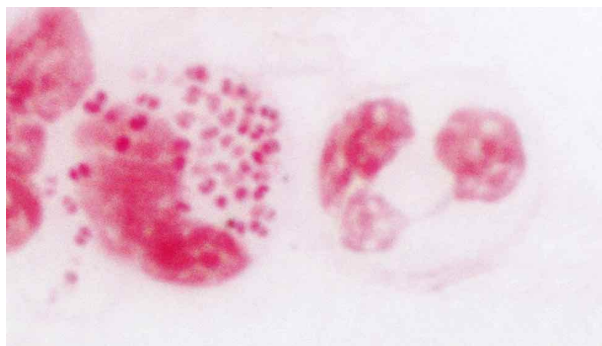


図2. 男性尿道炎患者からの尿道分泌物の塗抹標本( グラム染色 )  
左: 淋菌を貪食している白血球( 好中球 )。胡麻のように見えるのが淋菌で、2個対になっている。  
右: 貪食をしていない通常の白血球。

淋菌は弱い菌で、患者の粘膜から離れると数時間で感染性を失う。したがって、性交や性交類似行為以外で感染することはまれである。日光、乾燥や温度の変化、消毒剤で簡単に死滅するので、分離培養が必要な場合には検体の取り扱いに注意を要する。

### 臨床症状

男性は主として淋菌性尿道炎を呈し、女性は子宮頸管炎を呈する。

男性の尿道に淋菌が感染すると、2 ~ 9日の潜伏期を経て通常膿性の分泌物が出現し、排尿時に疼痛を生ずる。しかし最近では、男性の場合でも症状が典型的でなく、粘液性の分泌物であったり、場合によっては無症状に経過することも報告されている。

女性では男性より症状が軽くて自覚されないまま経過することが多く、また、上行性に炎症が波及していくことがある。米国ではクラミジア感染症とともに、骨盤炎症性疾患、卵管不妊症、子宮外妊娠、慢性骨盤痛の主要な原因となっている。

その他、咽頭や直腸の感染では症状が自覚されないことが多く、これらの部位も感染源となる。淋菌感染症は何度も再感染することがある。

### 病原診断

前述の如く、淋菌は死滅し易いことなどから検体の取り扱いに注意が必要である。死菌からでも検出可能な市販キットとしては酵素免疫法( EIA法 )、液相ハイブリダイゼーション法、PCR法、LCR法があり、特にPCR法やLCR法は検出感度が非常に高く、分泌物と尿が検査の保険適用を受けている。酵素免疫法と液相ハイブリダイゼーション法は検出感度が低いため、分泌物のみ保険適用となっている。検体の採取部位や採取法によっては正しい結果が得られないこともあるので、キットの説明書に従って行うことが必要である。

菌の耐性検査を行う場合には、分離培養による菌の確保が必要である。菌の分離を行う場合、検体採取後直ちに分離用培地に接種することが必要である。やむをえず輸送する場合、男性尿道分泌物や女性頸管分泌物などはスチュアート培地を用いる。市販の検体輸送セットとしてカルチュレット( 淋菌・百日咳菌などで使用 ) があり、乾燥や温度変化を避けて保存や輸送を行う。検体採取後直ちに培養ができない場合には、この操作は必須である。尿はそのまま室温にて迅速に検査室へ輸送する。淋菌検体は採取した日に分離培養することが原則で、長時間放置しては

ならない。培養にはNYC培地、サイヤー・マーチン培地またはチョコレート寒天培地などを用い、37℃で5～10%の炭酸ガス環境下で行う。同定は、培養後にグラム染色をして菌の形態観察やオキシダーゼ反応、糖分解などで決める。特に生殖器以外からの分離菌に対しては、菌種の同定を行うことが必要である。

淋菌感染症では血清診断法は有用でない。

#### 治療・予防

淋菌では耐性菌が増えているが、その出現や検出率には抗菌薬の投与方法や使用頻度が関連している。国や地域により、治療で多く使用される抗菌薬やその使用方法が異なるため、耐性菌の検出率も異なってくる。治療として、スペクチノマイシン(筋注)、セフィキシム(経口)、オフロキサシン(経口)、ピプラマイシン(経口)などが用いられている。セフトリアキソン(静注)も有効であるが、我が国では現在保険適用とはなっていない。近年、ニューキノロン系薬に対する感受性の低下が著しくなっている。

予防対策としては、性的接触時にはコンドームを必ず使用することを教育する。また、患者だけでなくその接触者を発見し、早期診断と治療を行うことが重要である。

#### 感染症法における取り扱い

淋菌感染症は4類感染症定点把握疾患であり、全国約900カ所のSTD定点医療機関より毎月報告がなされている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの検査による診断がなされたもの

- ・病原体の検出  
例:(男性の場合)尿道性器から採取した材料からの検鏡・培養、蛍光抗体法など
- ・病原体の抗原の検出  
例:尿道性器から採取した材料からの酵素抗体法による検出など
- ・病原体の遺伝子の検出  
例:尿道性器から採取した材料からのPCR法等による検出など

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清診断によって当該疾患と診断されたもの

( 国立感染症研究所細菌第一部 芳賀伸治、神奈川県衛生研究所細菌病理部 黒木俊郎 )



## 読者のコーナー

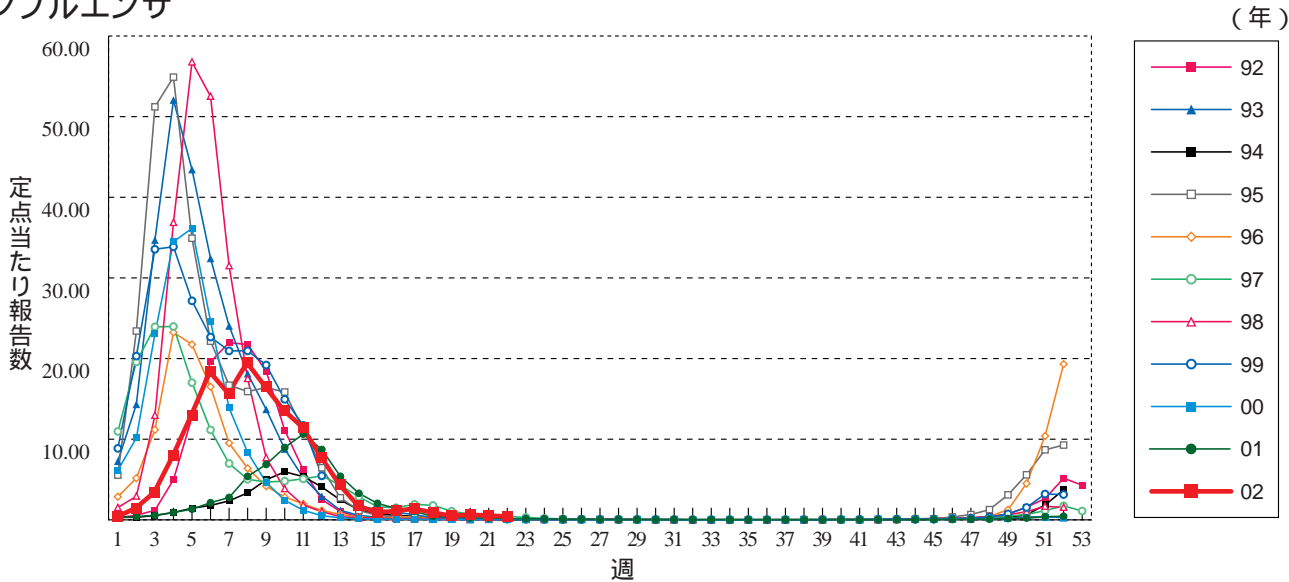
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

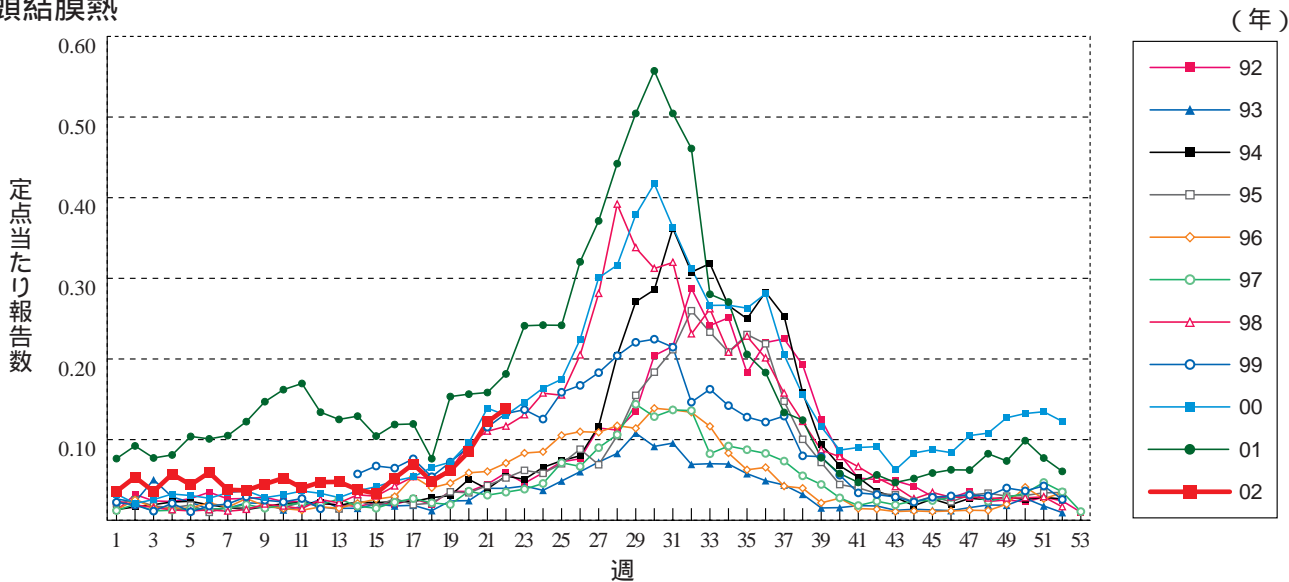


**グラフ総覧(22週)**

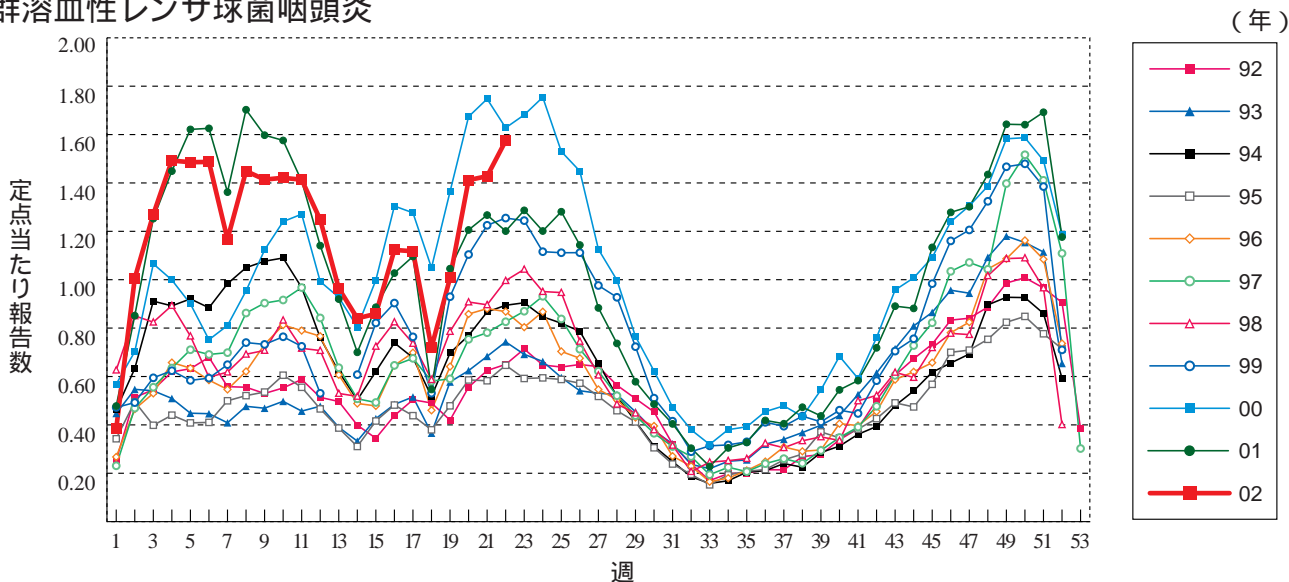
**インフルエンザ**



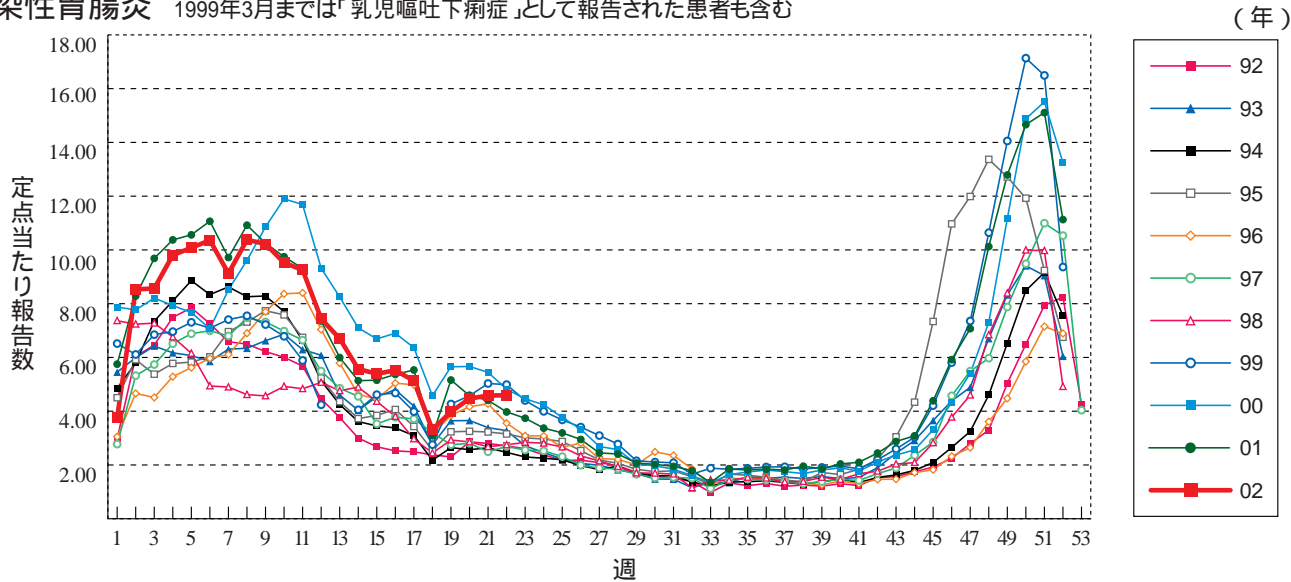
**咽頭結膜熱**



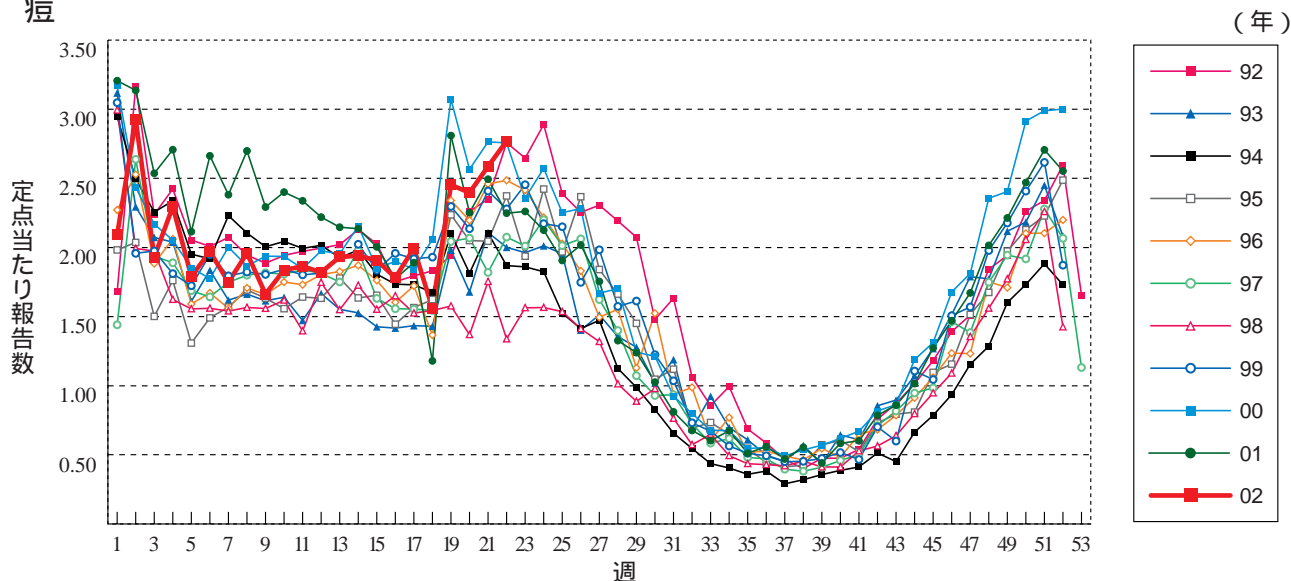
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



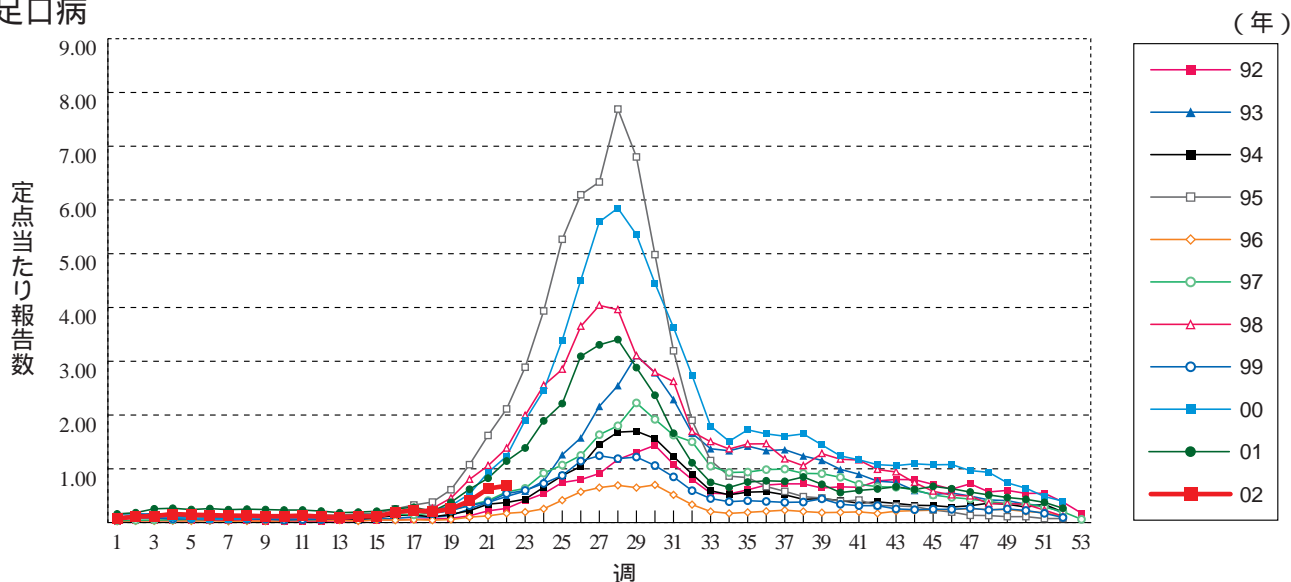
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



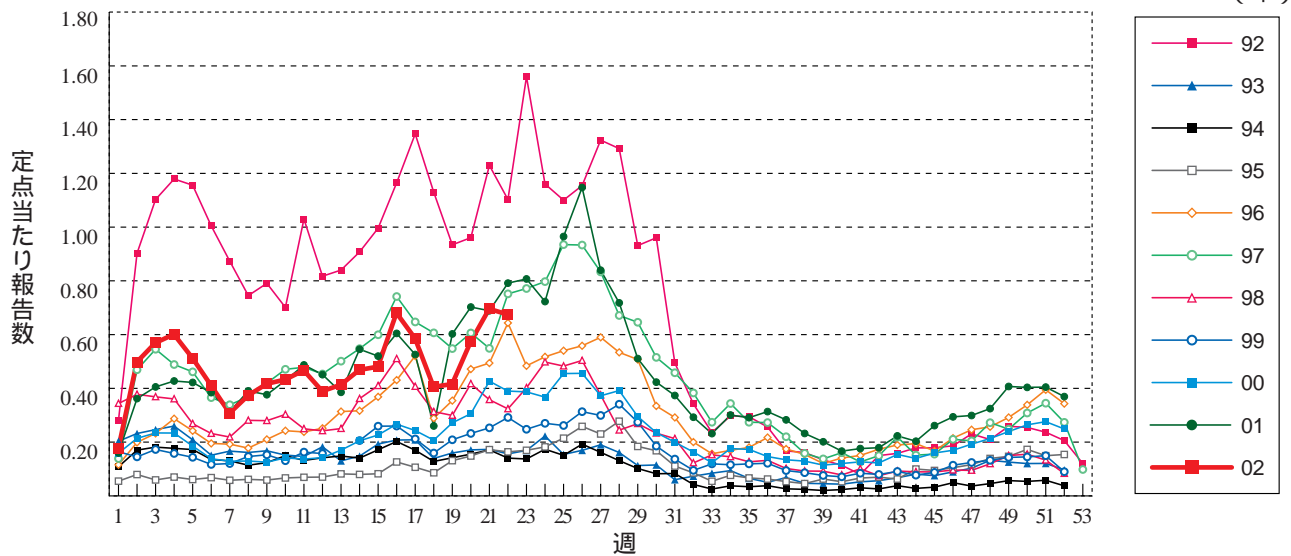
**水痘**



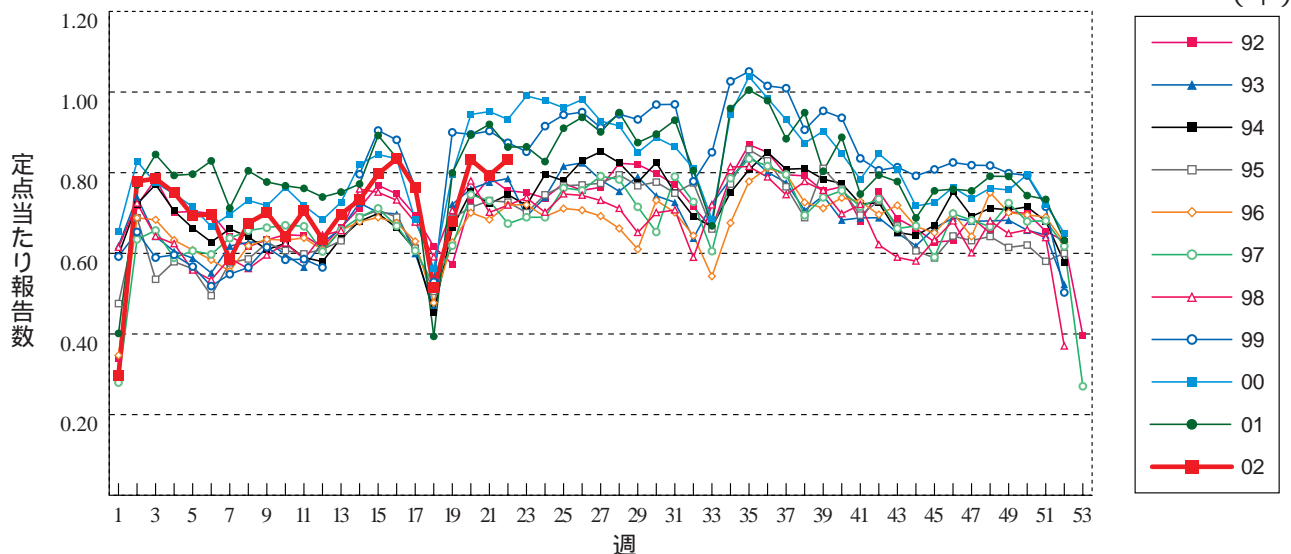
**手足口病**



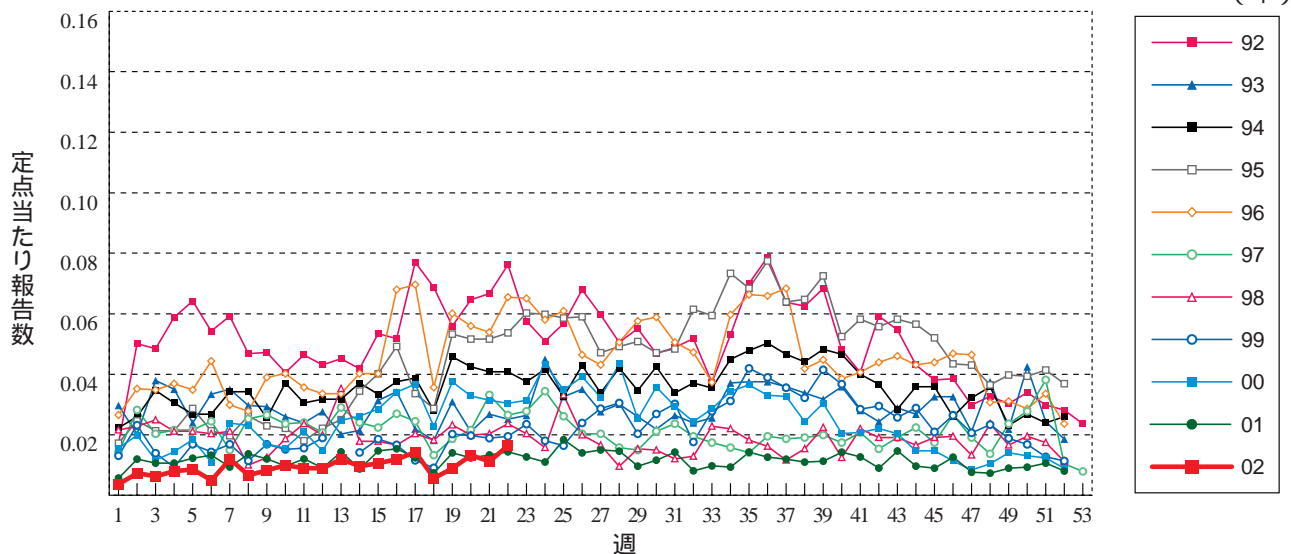
伝染性紅斑



突発性発疹

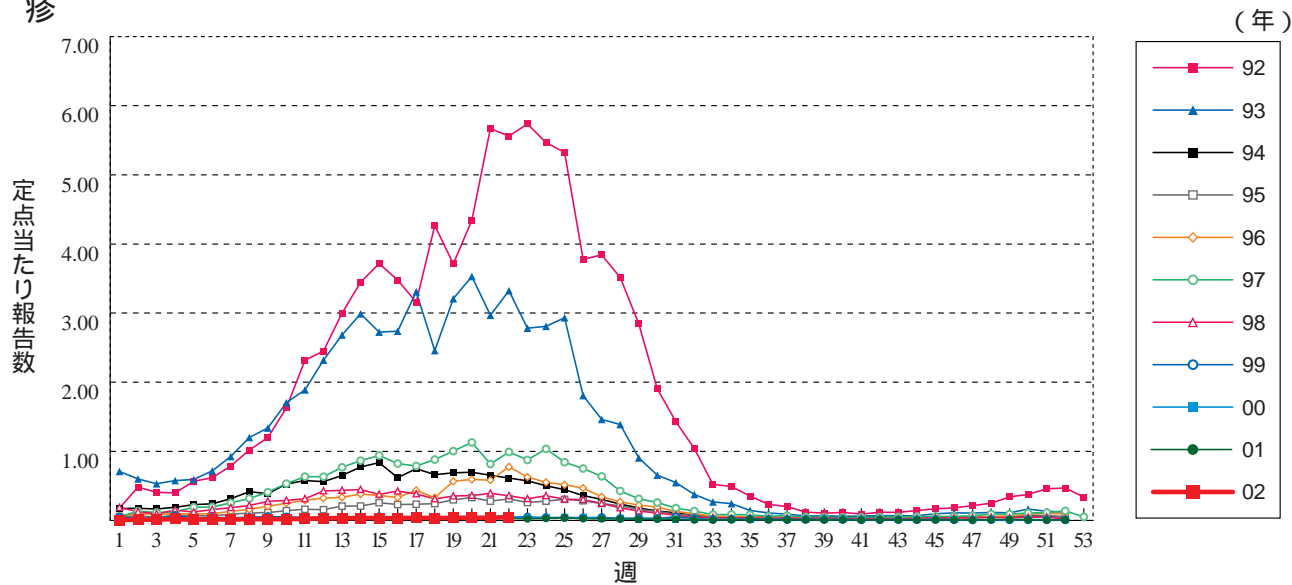


百日咳

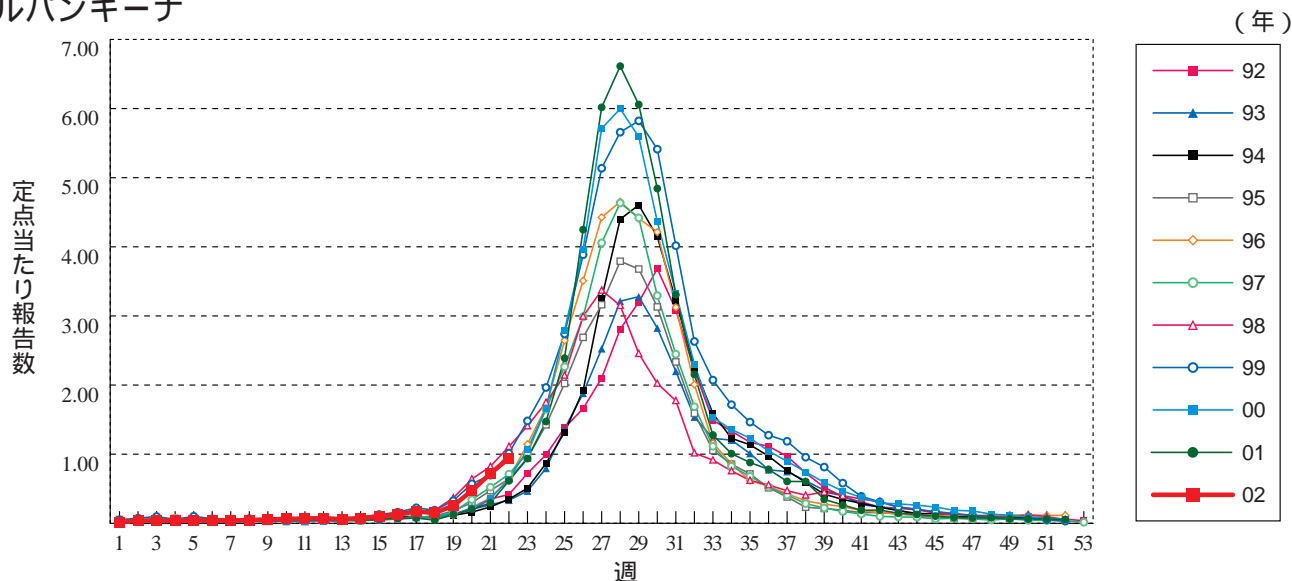




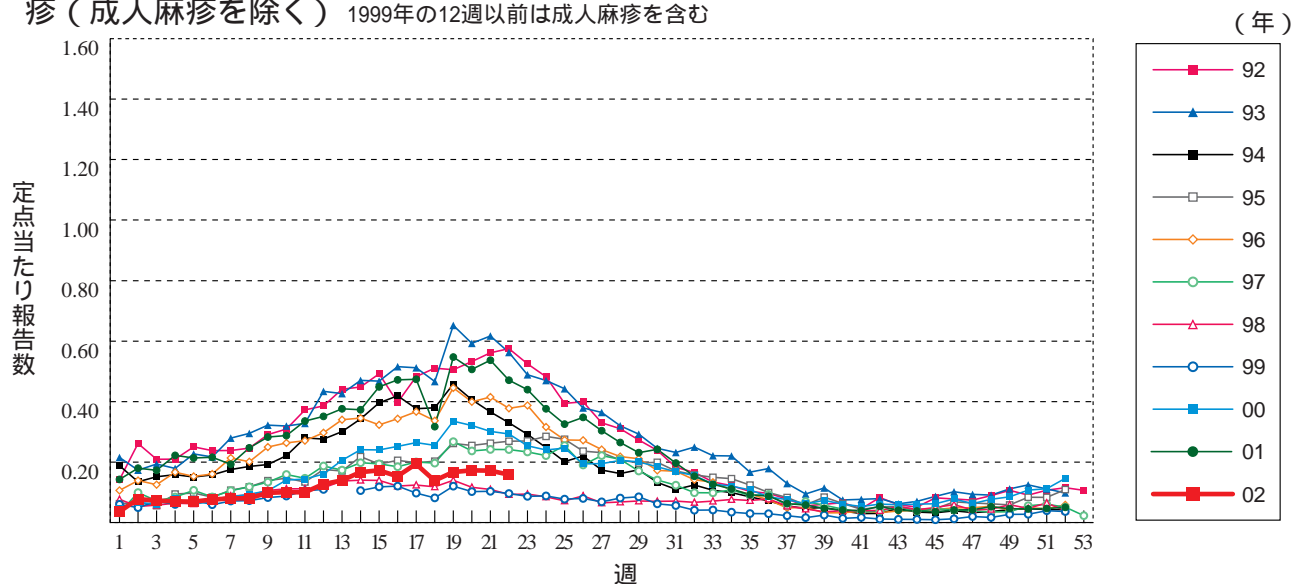
風 疹



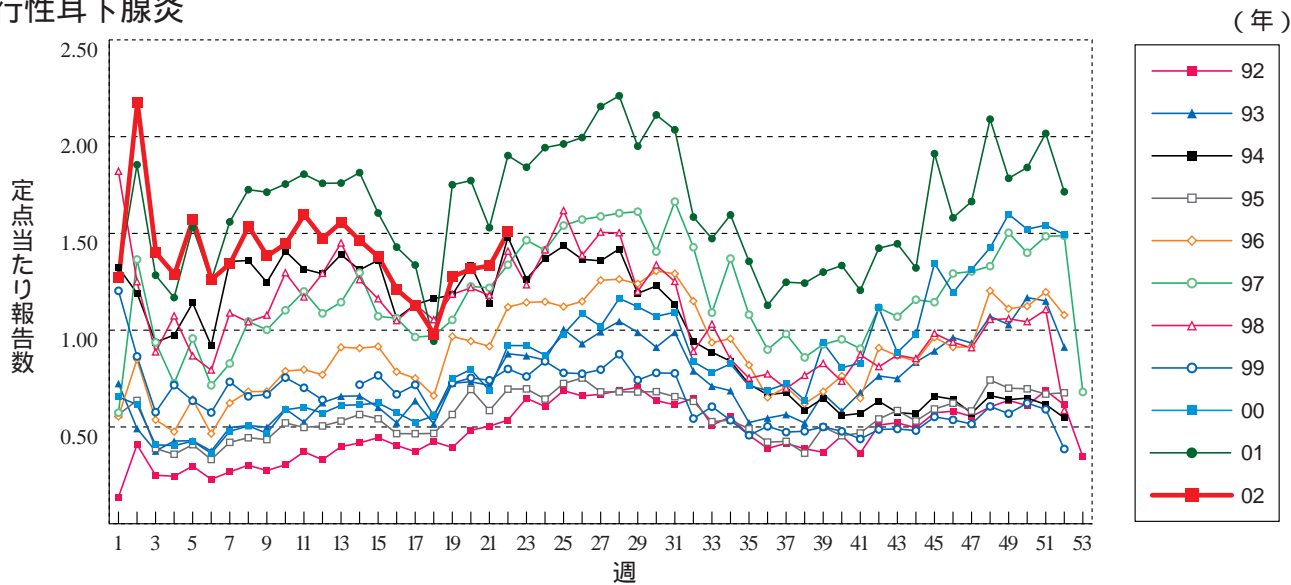
ヘルパンギーナ



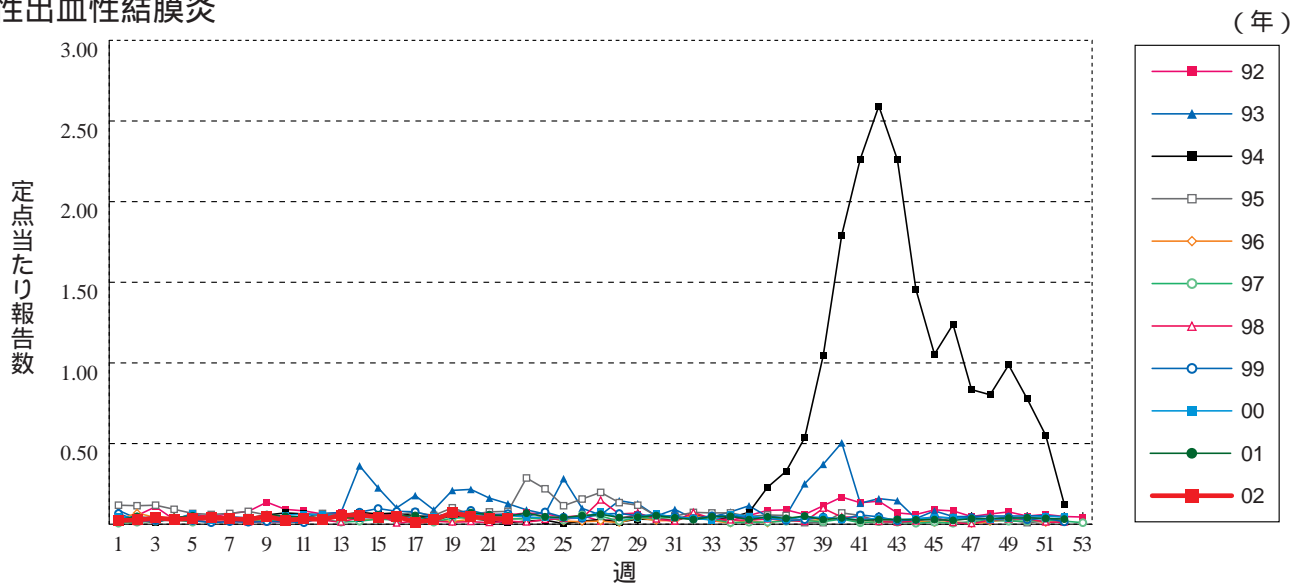
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



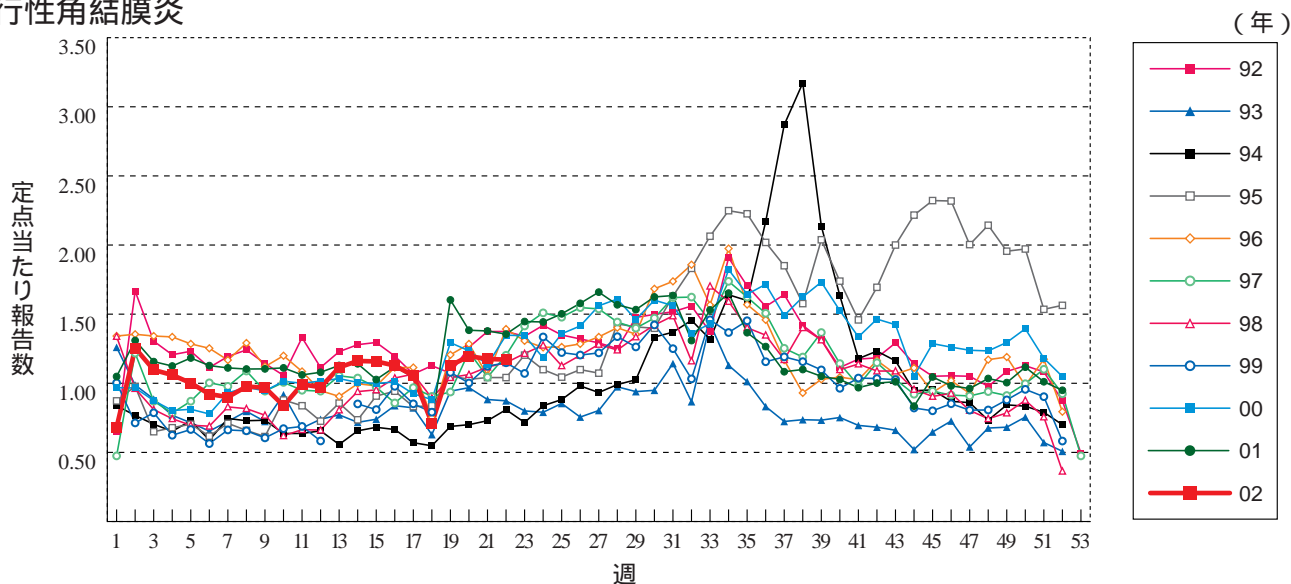
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

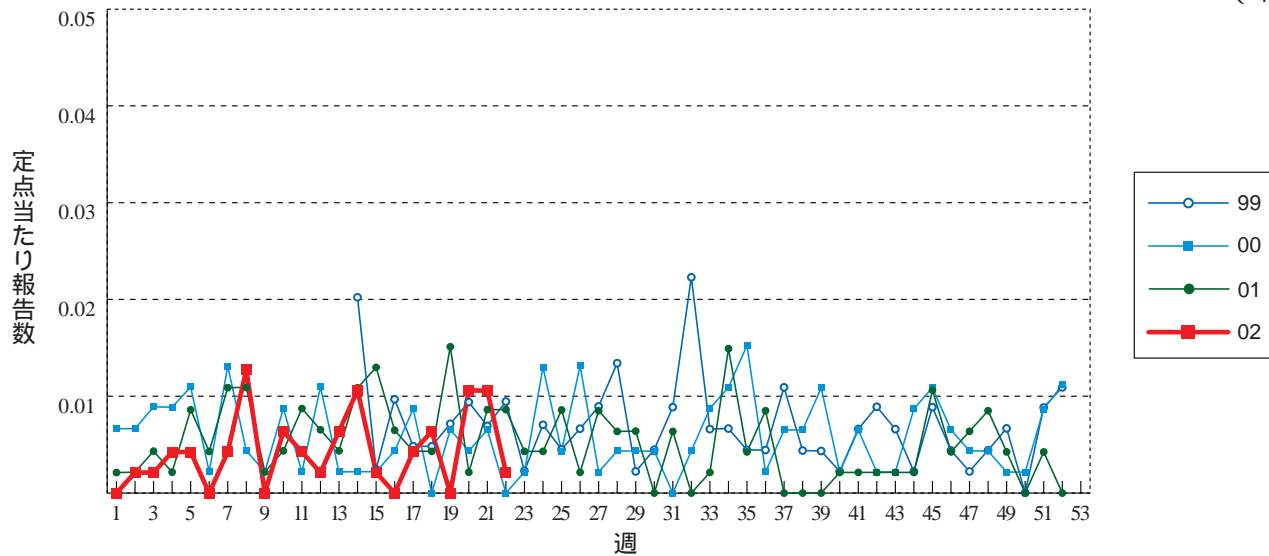


流行性角結膜炎



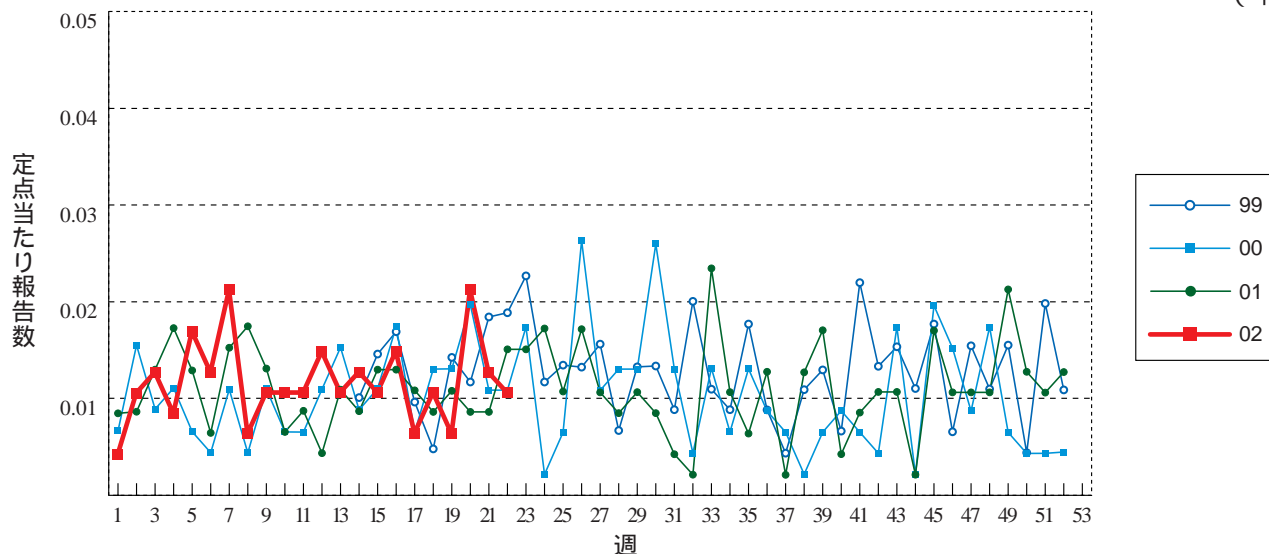
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



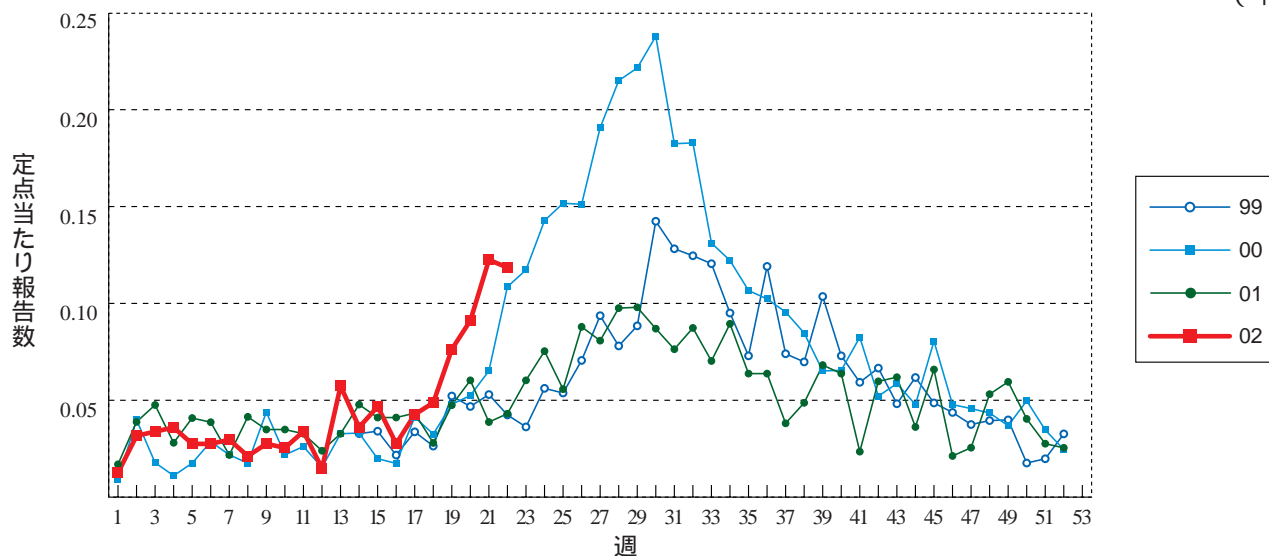
細菌性髄膜炎

(年)



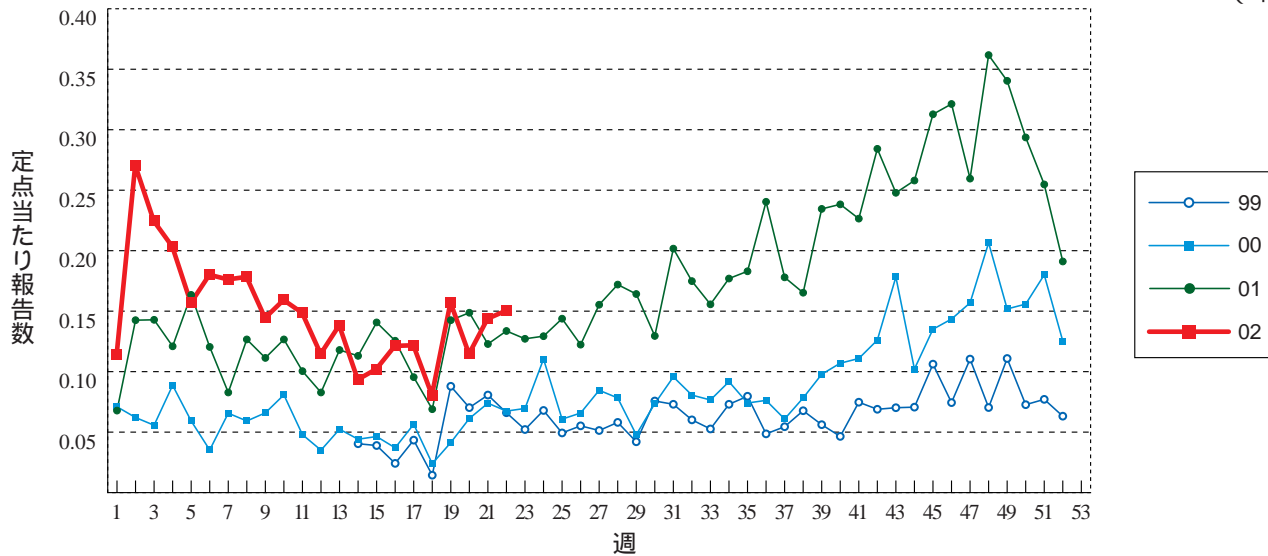
無菌性髄膜炎

(年)



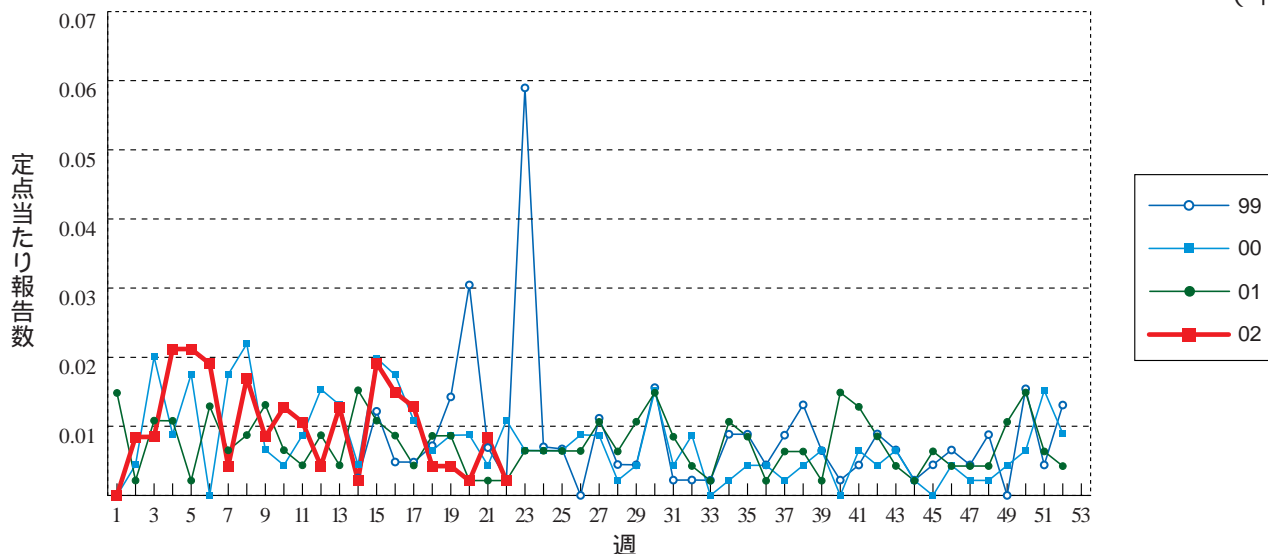
マイコプラズマ肺炎

(年)



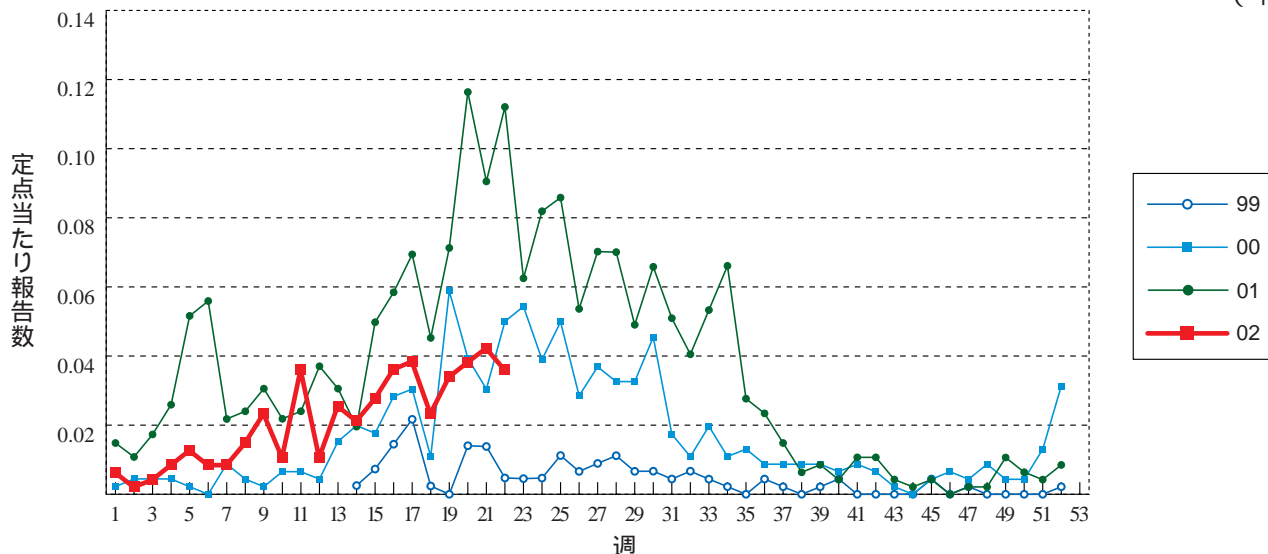
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





## 22週のデータ

注)表中の報告数は6月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年22週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	25	362	-	28	-	15
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	7	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	30	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	65	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	36	-	11	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	3	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年22週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	75	575	7	182	-	4	-	-	1	36	-	-	16	484
北海道	-	-	-	-	-	9	-	7	-	4	-	-	-	3	-	-	1	9
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
宮城県	-	-	-	-	-	11	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
福島県	-	-	-	-	3	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	2	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
埼玉県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
千葉県	-	-	-	-	2	5	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26
東京都	-	-	-	-	2	17	3	42	-	-	-	-	-	2	-	-	3	93
神奈川県	-	-	-	-	8	26	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	2	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
岐阜県	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13
静岡県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17
愛知県	-	-	-	-	5	22	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	6	21	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
大阪府	-	-	-	-	7	63	2	29	-	-	-	-	-	3	-	-	1	25
兵庫県	-	-	-	-	4	85	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	22
奈良県	-	-	-	-	3	16	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
島根県	-	-	-	-	3	8	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	9	39	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
広島県	-	-	-	-	2	13	-	2	-	-	-	-	1	8	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	17
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
高知県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	2	18	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16
佐賀県	-	-	-	-	2	43	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	2	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	7	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年22週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	16	-	-	-	98	-	58	1	44	12	322	1	2	2	47	-	-
北海道	-	1	-	-	-	34	-	1	1	3	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	2	20	-	-	-	3	-	-
東京都	-	12	-	-	-	2	-	3	-	4	3	127	-	-	1	26	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	21	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	9	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	15	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	1	32	-	1	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	3	-	4	-	6	-	-	1	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年22週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	4	100	-	21	-	1	-	-	-	-	3	211
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	-	2	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	21
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	38
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年22週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	29	1	15	-	-	-	-	-	1	-	-	3	35	1	1	-	39
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
東京都	-	2	-	3	-	-	-	-	1	-	-	1	10	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	4
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年22週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1955	0.42	421	0.14	4786	1.57	13955	4.59	8421	2.77	2080	0.68	2052	0.68	2532	0.83	50	0.02
北海道	197	0.86	13	0.09	347	2.39	440	3.03	324	2.23	49	0.34	43	0.30	92	0.63	1	0.01
青森県	238	3.66	23	0.55	32	0.76	93	2.21	102	2.43	22	0.52	102	2.43	22	0.52	-	-
岩手県	438	7.06	2	0.05	50	1.32	89	2.34	85	2.24	16	0.42	11	0.29	24	0.63	2	0.05
宮城県	222	2.29	16	0.27	80	1.36	470	7.97	181	3.07	44	0.75	44	0.75	61	1.03	-	-
秋田県	120	2.18	3	0.09	42	1.20	151	4.31	90	2.57	11	0.31	59	1.69	18	0.51	2	0.06
山形県	67	1.40	2	0.07	110	3.67	140	4.67	191	6.37	8	0.27	26	0.87	42	1.40	8	0.27
福島県	44	0.55	1	0.02	68	1.48	321	6.98	199	4.33	29	0.63	63	1.37	46	1.00	-	-
茨城県	-	-	4	0.05	101	1.36	194	2.62	168	2.27	61	0.82	84	1.14	43	0.58	-	-
栃木県	-	-	3	0.07	86	1.87	171	3.72	91	1.98	13	0.28	85	1.85	46	1.00	-	-
群馬県	3	0.03	4	0.06	111	1.79	221	3.56	124	2.00	9	0.15	55	0.89	77	1.24	1	0.02
埼玉県	4	0.02	33	0.21	368	2.33	876	5.54	669	4.23	104	0.66	94	0.59	142	0.90	-	-
千葉県	-	-	14	0.11	248	1.86	660	4.96	486	3.65	67	0.50	49	0.37	124	0.93	-	-
東京都	-	-	5	0.04	122	0.86	513	3.61	282	1.99	117	0.82	91	0.64	90	0.63	5	0.04
神奈川県	4	0.01	41	0.20	294	1.43	882	4.28	551	2.67	241	1.17	140	0.68	217	1.05	-	-
新潟県	106	1.07	31	0.52	118	1.97	458	7.63	235	3.92	26	0.43	79	1.32	47	0.78	-	-
富山県	1	0.02	-	-	75	2.59	236	8.14	88	3.03	44	1.52	40	1.38	20	0.69	-	-
石川県	15	0.31	4	0.14	29	1.00	227	7.83	144	4.97	35	1.21	42	1.45	27	0.93	-	-
福井県	-	-	1	0.05	37	1.68	147	6.68	60	2.73	2	0.09	12	0.55	25	1.14	-	-
山梨県	5	0.12	-	-	58	2.32	63	2.52	18	0.72	3	0.12	21	0.84	11	0.44	-	-
長野県	8	0.09	12	0.22	123	2.28	297	5.50	128	2.37	15	0.28	64	1.19	24	0.44	1	0.02
岐阜県	-	-	4	0.09	72	1.53	128	2.72	161	3.43	6	0.13	35	0.74	34	0.72	-	-
静岡県	8	0.06	5	0.06	115	1.34	433	5.03	302	3.51	57	0.66	99	1.15	95	1.10	1	0.01
愛知県	1	0.01	14	0.08	229	1.26	615	3.38	407	2.24	190	1.04	60	0.33	128	0.70	2	0.01
三重県	1	0.01	11	0.24	85	1.89	259	5.76	145	3.22	10	0.22	54	1.20	55	1.22	-	-
滋賀県	1	0.02	30	0.94	35	1.09	222	6.94	93	2.91	9	0.28	29	0.91	8	0.25	1	0.03
京都府	3	0.02	1	0.01	102	1.34	554	7.29	176	2.32	4	0.05	39	0.51	38	0.50	-	-
大阪府	4	0.01	15	0.08	291	1.49	890	4.56	412	2.11	120	0.62	93	0.48	148	0.76	2	0.01
兵庫県	-	-	29	0.23	158	1.23	756	5.91	483	3.77	88	0.69	107	0.84	90	0.70	2	0.02
奈良県	-	-	-	-	35	1.00	177	5.06	108	3.09	33	0.94	33	0.94	25	0.71	2	0.06
和歌山県	1	0.02	1	0.03	23	0.74	89	2.87	84	2.71	29	0.94	12	0.39	23	0.74	1	0.03
鳥取県	8	0.28	2	0.11	36	1.89	186	9.79	62	3.26	3	0.16	43	2.26	23	1.21	-	-
島根県	19	0.50	3	0.13	19	0.83	82	3.57	47	2.04	99	4.30	14	0.61	15	0.65	1	0.04
岡山県	1	0.01	6	0.11	46	0.85	176	3.26	97	1.80	38	0.70	16	0.30	18	0.33	1	0.02
広島県	-	-	24	0.32	90	1.20	282	3.76	128	1.71	31	0.41	19	0.25	68	0.91	3	0.04
山口県	23	0.33	8	0.16	84	1.71	258	5.27	160	3.27	4	0.08	35	0.71	50	1.02	-	-
徳島県	36	0.95	2	0.09	48	2.09	95	4.13	56	2.43	11	0.48	6	0.26	22	0.96	-	-
香川県	2	0.04	-	-	50	1.56	159	4.97	70	2.19	75	2.34	11	0.34	26	0.81	-	-
愛媛県	-	-	11	0.28	110	2.82	204	5.23	96	2.46	9	0.23	31	0.79	37	0.95	1	0.03
高知県	-	-	2	0.06	42	1.35	71	2.29	32	1.03	145	4.68	12	0.39	19	0.61	-	-
福岡県	90	0.45	5	0.04	247	2.06	574	4.78	386	3.22	31	0.26	25	0.21	146	1.22	9	0.08
佐賀県	8	0.21	1	0.04	54	2.35	40	1.74	62	2.70	3	0.13	3	0.13	25	1.09	-	-
長崎県	52	0.74	2	0.05	21	0.48	109	2.48	73	1.66	1	0.02	24	0.55	24	0.55	-	-
熊本県	18	0.22	12	0.24	122	2.49	189	3.86	113	2.31	9	0.18	12	0.24	70	1.43	1	0.02
大分県	12	0.21	5	0.14	62	1.72	210	5.83	148	4.11	3	0.08	14	0.39	46	1.28	2	0.06
宮崎県	5	0.08	6	0.16	65	1.76	261	7.05	116	3.14	10	0.27	14	0.38	50	1.35	-	-
鹿児島県	36	0.37	6	0.10	40	0.67	269	4.48	136	2.27	2	0.03	6	0.10	39	0.65	-	-
沖縄県	154	2.66	4	0.12	6	0.18	18	0.53	52	1.53	144	4.24	2	0.06	12	0.35	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年22週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	151	0.05	2871	0.94	482	0.16	4589	1.51	21	0.03	746	1.17	1	0.00	5	0.01	56	0.12
北海道	-	-	12	0.08	6	0.04	100	0.69	-	-	25	0.86	-	-	-	-	-	-
青森県	5	0.12	4	0.10	57	1.36	118	2.81	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	19	0.50	-	-	82	2.16	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	17	0.29	4	0.07	174	2.95	-	-	3	0.27	-	-	1	0.08	1	0.08
秋田県	-	-	17	0.49	4	0.11	72	2.06	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	21	0.70	3	0.10	146	4.87	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.02	15	0.33	17	0.37	120	2.61	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	104	1.41	15	0.20	72	0.97	1	0.06	63	3.94	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	14	0.30	2	0.04	101	2.20	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.02	52	0.84	6	0.10	93	1.50	-	-	61	4.36	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.01	84	0.53	22	0.14	158	1.00	-	-	51	1.46	-	-	-	-	-	-
千葉県	7	0.05	133	1.00	56	0.42	187	1.41	-	-	74	2.11	-	-	-	-	-	-
東京都	5	0.04	158	1.11	18	0.13	100	0.70	6	0.43	20	1.43	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	3	0.01	117	0.57	37	0.18	228	1.11	1	0.02	57	1.36	-	-	-	-	2	0.18
新潟県	-	-	153	2.55	5	0.08	177	2.95	-	-	13	1.44	-	-	-	-	-	-
富山県	1	0.03	39	1.34	5	0.17	118	4.07	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	64	2.21	4	0.14	32	1.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	10	0.45	-	-	7	0.32	-	-	5	1.67	-	-	-	-	7	1.17
山梨県	-	-	5	0.20	5	0.20	80	3.20	-	-	2	0.67	1	0.10	-	-	-	-
長野県	1	0.02	18	0.33	6	0.11	87	1.61	2	0.20	21	2.10	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	13	0.28	18	0.38	56	1.19	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	58	0.67	19	0.22	119	1.38	1	0.05	9	0.45	-	-	-	-	2	0.20
愛知県	-	-	144	0.79	86	0.47	254	1.40	-	-	19	0.54	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	39	0.87	6	0.13	67	1.49	-	-	8	0.67	-	-	-	-	4	0.44
滋賀県	3	0.09	8	0.25	3	0.09	51	1.59	-	-	10	1.43	-	-	-	-	1	0.14
京都府	6	0.08	27	0.36	3	0.04	59	0.78	-	-	8	0.44	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	6	0.03	257	1.32	14	0.07	166	0.85	1	0.02	25	0.48	-	-	1	0.07	2	0.13
兵庫県	2	0.02	113	0.88	13	0.10	162	1.27	1	0.03	33	0.92	-	-	-	-	3	0.23
奈良県	-	-	19	0.54	6	0.17	63	1.80	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	4	0.13	2	0.06	53	1.71	-	-	6	1.50	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	25	1.32	-	-	29	1.53	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60
島根県	1	0.04	12	0.52	5	0.22	26	1.13	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	10	0.19	41	0.76	8	0.15	109	2.02	-	-	16	1.33	-	-	1	0.20	-	-
広島県	5	0.07	120	1.60	4	0.05	107	1.43	1	0.05	23	1.15	-	-	-	-	2	0.10
山口県	-	-	70	1.43	2	0.04	55	1.12	-	-	12	1.33	-	-	-	-	3	0.38
徳島県	-	-	8	0.35	-	-	64	2.78	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	6	0.19	2	0.06	21	0.66	2	0.67	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	66	1.69	1	0.03	95	2.44	-	-	22	3.14	-	-	-	-	2	0.33
高知県	1	0.03	7	0.23	-	-	16	0.52	-	-	5	1.67	-	-	-	-	4	0.50
福岡県	86	0.72	214	1.78	7	0.06	172	1.43	1	0.04	30	1.15	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	77	3.35	2	0.09	48	2.09	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	2	0.33
長崎県	-	-	40	0.91	-	-	55	1.25	3	0.38	7	0.88	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	124	2.53	2	0.04	22	0.45	1	0.11	8	0.89	-	-	-	-	6	0.40
大分県	-	-	85	2.36	6	0.17	71	1.97	-	-	1	0.20	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	-	-	172	4.65	1	0.03	167	4.51	-	-	21	5.25	-	-	-	-	3	0.43
鹿児島県	3	0.05	62	1.03	-	-	158	2.63	-	-	5	0.83	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	4	0.12	-	-	72	2.12	-	-	12	1.20	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年22週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	71	0.15	1	0.00	17	0.04
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	1	0.20
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	3	0.25	-	-	1	0.08
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	1	0.10
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.23	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	2	0.08
神奈川県	1	0.09	-	-	3	0.27
新潟県	10	0.77	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	8	0.80	1	0.10	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	2	0.20
愛知県	6	0.46	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	6	0.67
滋賀県	4	0.57	-	-	-	-
京都府	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	2	0.15	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	4	0.19	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	5	0.33	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第22号 平成14年6月14日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。